

【情報公開文書(オプトアウト文書)】

脳血管撮影を受けた患者さんへ 研究協力をお願いについて

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2007 年 1 月～2029 年 3 月に脳血管内撮影を受けられた方

2. 研究の概要

研究課題名	脳血管撮影検査における灌流ラインの有用性の検討
研究期間	承認日 年 月 日 ～ 2029 年 3 月 31 日
目標数	全体 400 例

脳血管撮影のカテーテル検査において検査中に虚血性合併症を認めることがあります。カテーテル内にヘパリン入り生理食塩水を持続的に灌流することで合併症を予防できると考えられていますが、科学的に証明はされていません。本研究では持続的灌流ラインを接続した群と接続していない群を比較することで灌流ラインの有用性を検討します。

3. 研究の目的・方法について

この研究では持続的灌流ラインの接続が脳血管撮影での合併症予防に対する有用性を調べることを目的としています。脳血管撮影を受けた患者さんの病歴、血液検査データ、MRI画像、脳血管撮影画像を使います。必要なデータをとりまとめ、灌流ラインの有用性を検討するための解析を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療の際に得た情報を使用します。

情報：年齢、性別、MRI画像、脳血管撮影画像、血液検査データ、病歴

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された試料・情報は、外部へ提供することはありません。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された試料や診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報

が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

(1) 金沢大学における研究実施体制

研究責任者	附属病院脳神経外科	中田光俊
研究分担者	附属病院脳神経外科	上出智也
	〃	見崎孝一

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、金沢大学の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2028年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者	金沢大学 附属病院脳神経外科	中田光俊
相談窓口担当者	金沢大学 附属病院脳神経外科	上出智也
住所	〒920-8640 金沢市宝町 13 番 1 号	
電話	076-265-2384	